

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	乳癌 3週毎 TRA+VNR療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2013年11月1日	
疾患名	乳癌		☒ 日常診療 ☐ 単施設自主研究 ☒ 他施設自主研究 ☐ 市販後臨床研究 ☐ 治験	☒ 進行・再発化学療法 ☐ 術後化学療法 ☐ 術前化学療法 ☐ 局所療法 ☐ その他	1クール期間	21日	
診療科名	乳腺・内分泌外科				実施回数	/回	
登録医師名	高橋 寛敏						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日								注意コメント		
							day1	—	—	day8	—	—	—	—		—	—
1	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
2	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン	90min	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1) 初回投与時のみ8mg/kg (2回目以降6mg/kg) ※初回投与の忍容性が良好であれば、投与時間30minまで短縮可能
	トラスツスマブBS点滴静注用	8	mg/kg														
		2回目以降：6	mg/kg														
3	グラニセトロン点滴静注液3mg/バック	1	袋	点滴静注	メイン	15min	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	
	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶														
4	生理食塩液	50	mL	点滴静注	メイン	全開で	●	—	—	●	—	—	—	—	—	—	
	ロゼウス静注液	25	mg/m2														
5	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン	全開で	●			●							静脈炎予防の為ロゼウス終了後全開で全量投与すること

備考欄

※JBCRG M05 (PRECIOUS) 試験を行う場合

★ハーセプチン：何らかの理由により、予定された投与が遅れた場合、前回投与日から6週間未満のときには、維持投与量 6 mg/kg を投与する。前回投与日から6週間以上のときには、初回投与量の8 mg/kg で投与を行い、以降は維持投与量 6 mg/kg を3週間隔で投与する。（添付文書と異なる。）

文献

減量・中止基準

※JBCRG M05 (PRECIOUS) 試験を行う場合は、臨床研究実施計画書に沿って減量・中止を行うこと。

【中止基準】
白血球数<2000/mm3

【減量基準】
好中球減少を疑う所見が現れた場合には、次コース 20mg/m2に減量

【肝機能低下症例に対する減量の目安】
T-Bil：2.1～3.0 mg/dL 50%減量
T-Bil：>3.0 mg/dL 75%減量

参考文献：がん化学療法レジメンハンドブック改訂第7版 p284